



香美市文芸

【短歌】

岡崎 桜雲 選

米寿にと嫁が作りし花束を手渡してくれる今日の喜び
朝早く窓辺によりて眺むれば影山はどんより雪ふるらしき
まだ子には頼らぬと今日も沖に出づ老いの腕に櫓は軽々し
龍安寺の庭に祇園の街並に過ぎし日隈ぶ春の一日を
いつしかに傘寿は遠く広報の級友の訃報も度重なりて
御在所山を追うて故郷へひた走ればやがて白髪山の峰が現る
踏めぬまま電動自転車三年か形見は行き来の小屋に置かれて
青空を仰ぎつつ深く息吸えば春告げ鳥の鶯の声
めぐり会ふ季節はいつも春の暮れひときは美しき月のかかれり
末枯のそのまま残る根元にも菊の緑の競いて芽吹く
八十九歳農止め介護一途にす農地農具は継ぐ者なくも
川干きてデイの唄は懐かしの獲物話で貼り絵進まず
夜半過ぎまで仕出し料理に精を出す働き過ぎる嫁の身案す
若くして古里離れ行きし人に送る写真を選ぶこの春
摘みて来しノビル土筆も夕餉の卓に加えてわれの春逝かんとす
兼山遺溝は春田役にてダム水は調制されて瀬波は躍る
すべて夢豊太閤ものたまひし弓を引きしも馬に乗りしも
霜月は寝たり起きたり流行りたる風邪に負けしか床に居るとぞ
福笹を手に手に衆ら福こいと大黒様の社出でゆく
大粒の星降る今宵願いおり「花は咲く」歌を心にきざむ
花開く日を夢みつつ黄水仙ゆらゆら午後うたた寝
朝のドラマ戦時下シーンに涙する化粧なほして今の幸せ

小松 隆之
門脇 千代
小原 子川
坂本土佐男
都築 忠義
森本 幸美
林 敏子
森 楓
山崎 貴子
岡田美代子
高野 和一
盛岡 雛子
楮佐古きよ
小松 敏子
坂上のぶ子
大岸由起子
菲生 灯
法光院俊子
公文 千恵
谷内 務
吉本 悦子
大石 綏子

銀メダルに触れつつこれが実力と笑む温りをグッと受け止む
「ありがとう」挙手の礼して駆けてゆくアンパンマン館へ急ぐ男の子
寒き雨にぬれて光れる露のとう言葉かけかけ夕餉の卓に
野の花に小鳥の声に癒されてしみじみ想う四季のある国
雛様の髪拭ひつつ独り言孫もこの頃忙しからむ
里は春白髪の嶺は白銀で額にはめたる日本画の如し
曲げみでは乾き具合を確かむる大根そろそろ漬けごろならむ
月一度地区の老人集い来て歌って踊って笑顔はじける
人幾多のみし山も萌え時はつつむ松原も谿も雪深く積む
アララギに詠みし我が庭車庫となる全てが短歌と成りし吾が庭
朝まだき空の曇りを高く行く鶯かと思ふ一羽なりにき
向かうでも読み返して下さい上と下と心行くまで眼鏡をかけて
空梅雨で夏日の続くこの日ごろダム湖の水も少なくなりぬ
ラベル作曲ボレロ聞きつつ日は昇り静かに朝の着替えをするも
くれないの濃きつばみなり山際の庁舎の桜に雪のとどきぬ
願いつつ風船いっばい書き込みて子らと飛ばせり紙の風船
朝日射す六畳の部屋は暖かし花弁のごとき雪は降りおり
人のごとき寝息の猫にふと目覚む皆熟睡の真夜の静けさ
おばあちゃんの抹茶一番久しぶりおいしい筈よ四万十の水
友人に賀状代わりのEメール送り今年も仲良くしてね
気のおけぬ友ら集える食事会些細なことにも笑いざわめく
手を振って横断歩道を渡る児らに手を振り応ふ朝のダンプは
俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲
載月の前月1日までに、ご応募ください。
なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782-8501 (住所記載不要) FAX 53-5958

吉井勇記念館だより

特別展 吉井勇を絵にしてみたら

日本漫画家協会四国支部所属のくさか里樹さん、さかもと清敏さん、田所のりあきさん、種田英幸さん、おかもとあつしさんに、吉井勇の短歌を題材にした絵を描いていただきました。
【期間】5月28日(水)～9月1日(月)

風の丘を歩こう ～猪野々の歌碑めぐり～

吉井勇の歌碑がたつ香北町猪野々を巡るウォーキングツアーを開催します。
若葉の季節、棚田の広がる風景を楽しみながら、轟の滝までめぐります。勇の短歌をはじめ、彼が隠棲し癒やされた猪野々の魅力を感じてください。
【日時】5月24日(土) 12時40分集合

【定員】20名 ※要予約
【参加費】一人千円(※おみやげ・お茶付き。記念館入館料含む)
【締切日】5月15日(木)

問い合わせ先 吉井勇記念館 ☎58・2220

図書館だより

市立図書館



◆第56回子どもの読書週間

【期間】4月23日(水)～5月12日(月)

【標語】いっつもいっしょ、本といっしょ
「本を常に持ち歩く。大人になるとそれが当たり前になっていました。苦しいとき、辛いとき、本を読むとなぜか心が軽くなるということがあります。きっと本には人の心を癒やす魔法の力があると信じています。子どもたちにはそんな一冊にめぐりあってほしいと願っています」(入選標語の作者のことば)

◆山田おはなしの会

山田おはなしの会では、子どもの本(主に絵本)についての情報交換や、読み聞かせの勉強会をしています。どなたでもお気軽においでください。

◆読み聞かせボランティアが選ぶ絵本・おはなしの本棚
香美市では、幼稚園や保育園、小・中学校で、読み聞かせに携わっている方が100人余りいます。
実際に活動している皆さんの声が、活動現場で生きてくるといふ思いから、読み聞かせボランティア推薦の本をまとめた冊子絵本・

Pick Up

MAKINO

高知新聞社 編
大きな夢を抱き、明治～昭和を生きた植物学者・牧野富太郎。北海道から鹿児島までその足跡をたどる。ゆかりの花めぐりや、年譜も収録。



僕は数式で宇宙の美しさを伝えたい

クリスティン・バーネット 著
重度の自閉症の息子を、「アインシュタインを超える」と賞賛される天才児に育て上げた母親の感動手記。あなたの人生に変化をもたらす1冊です。



さようなら、オレンジ

岩城けい 著
異国の地で、肌の色の違いによる差別や、言葉の壁にぶつかりながらも生きていく女性たちの物語です。第29回太宰治賞受賞作。

